I 結果の解説

第1章 地域別価格差

この章では、小売物価統計調査(構造編)(以下「構造編」という。)の地域別価格差調査等から作成した消費者物価地域差指数の結果を用いて、地域間の物価水準の違いを解説する。消費者物価地域差指数とは、各地域の物価水準を全国の物価水準を 100 とした指数値で示したものである。

構造編の地域別価格差調査は、地域間の価格差を把握するため、小売物価統計調査(動向編)(以下「動向編」という。)で対象とする全国 167 市町村と重複しない 88 市において、地域により価格差が見込まれ、かつ、家計消費支出のウエイトが大きい 56 品目の小売価格を調査している。

この章の構成は以下のとおりである。

第1節では、都道府県間の物価水準の違いを解説する。

第2節では、各地方間の物価水準の違いを解説する。

第3節では、都市間の物価水準の違いを解説する。

1 都道府県別の物価水準

(1)総合指数

- ◆ 物価水準が最も高いのは東京都、最も低いのは群馬県
- ◆ 東京都の物価水準は、群馬県に比べて8.9%高い

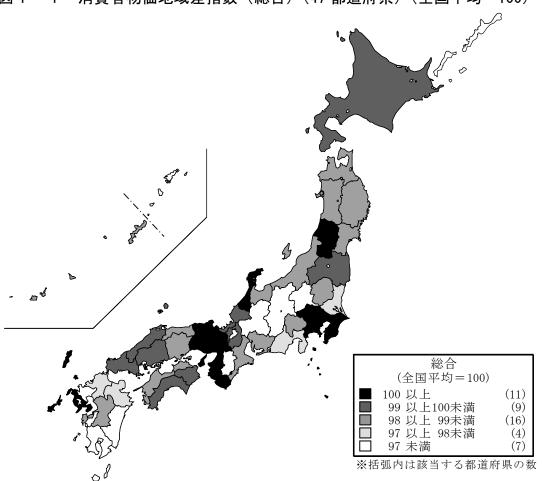
平成 28 年平均消費者物価地域差指数(全国平均=100)の「総合」を都道府県別に みると、東京都が 104.4 と最も高く、次いで神奈川県(104.3)、埼玉県(101.5)、京 都府及び兵庫県(共に100.8)などとなっている。

一方,最も低いのは群馬県(95.9)で,次いで宮崎県及び鹿児島県(共に96.1), 奈良県(96.6),岐阜県及び佐賀県(共に96.8)などとなっている。

最も高い東京都は最も低い群馬県に比べて、8.9%(注1)高くなっている。

(図1-1, 図1-2, 表1-1)

図 1 - 1 消費者物価地域差指数 (総合) (47 都道府県) (全国平均=100)



※本報告書の注意事項

消費者物価地域差指数における「総合」及び「住居」は「持家の帰属家賃」を含まない。

図1-2 消費者物価地域差指数(総合)(47都道府県)(全国平均=100)

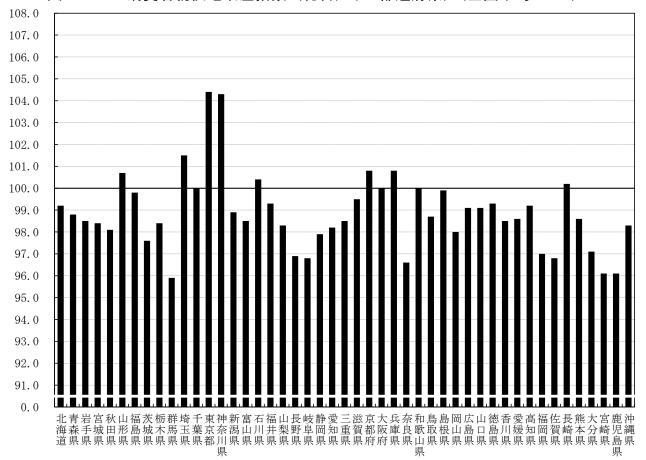


表 1-1 消費者物価地域差指数(総合)(47 都道府県)(全国平均=100)

20 1 709				是 的 30 / (工)	
都道府県	総合	都道府県	総合	都道府県	総合
北海道	99. 2	石川県	100. 4	岡山県	98. 0
青森県	98.8	福井県	99. 3	広島県	99. 1
岩手県	98. 5	山梨県	98. 3	山口県	99. 1
宮城県	98. 4	長野県	96. 9	徳島県	99. 3
秋田県	98. 1	岐阜県	96. 8	香川県	98. 5
山形県	100. 7	静岡県	97. 9	愛媛県	98. 6
福島県	99.8	愛知県	98. 2	高知県	99. 2
茨城県	97. 6	三重県	98. 5	福岡県	97. 0
栃木県	98. 4	滋賀県	99. 5	佐賀県	96.8
群馬県	95. 9	京都府	100.8	長崎県	100. 2
埼玉県	101.5	大阪府	100.0	熊本県	98. 6
千葉県	100.0	兵庫県	100.8	大分県	97. 1
東京都	104. 4	奈良県	96. 6	宮崎県	96. 1
神奈川県	104. 3	和歌山県	100.0	鹿児島県	96. 1
新潟県	98.9	鳥取県	98. 7	沖縄県	98. 3
富山県	98. 5	島根県	99. 9		

物価水準の高い6都府県(東京都,神奈川県,埼玉県,京都府,兵庫県及び山形県) について,「総合」が全国平均より高い要因を10大費目別に寄与度 (注2)でみると, 東京都,神奈川県及び埼玉県では「住居」(それぞれ2.32,1.64,0.64),京都府では 「教育」(0.47),兵庫県では「被服及び履物」(0.27),山形県では「光熱・水道」(1.07) が最も寄与している。

また,物価水準の低い 6 県(岐阜県,佐賀県,奈良県,宮崎県,鹿児島県及び群馬県)について,全国平均より低い要因をみると,岐阜県,佐賀県,宮崎県及び鹿児島県では「住居」(それぞれ-1.09,-1.40,-1.19,-1.45),奈良県では「食料」(-1.78),群馬県では「教育」(-0.88)が最も寄与している。

(図 1 - 3 , 図 1 - 4 , 表 1 - 2)

(注2) 寄与度

都道府県などの地域別「総合」指数と全国平均との差に対して、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。 この資料においては、ラスパイレス類似算式の指数の寄与度とパーシェ類似算式の指数の寄与度の平均値を 近似的な値として用いている。したがって、各費目の寄与度を足し上げても、「総合」の寄与度(「総合」 – 100)には必ずしも一致しない。

図1-3 「総合」に対する10大費目別寄与度 (上位6位及び下位6位の都府県)

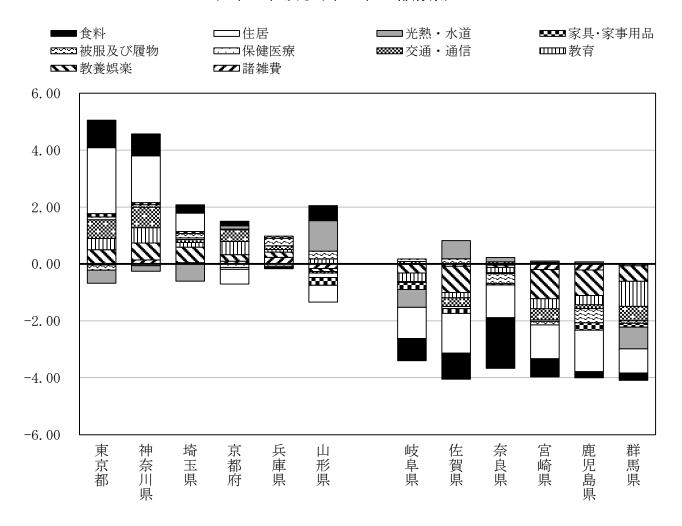


図1-4 「総合」に対する10大費目別寄与度(47都道府県)

■食料 □□住居 ■光熱・水道 ■■家具・家事用品 ■ 被服及び履物 □□保健医療 **₩** 交通・通信 **四**数育 ■教養娯楽 □ 諸雑費 6.00 5.00 4.00 3.00 2.00 1.00 0.00 -1.00-2.00-3.00-4.00-5.00

表 1 - 2 「総合」に対する 10 大費目別寄与度(47 都道府県)

都道府県	食料	住居	光熱・ 水道	家具· 家事用品	被服及び履物	- 保健 - 医療	交通・ 通信	教育	·/ 教養 娯楽	諸雑費
北海道	-0.38	-1. 38	1.41	-0.03	0.18	0.01	-0.08	-0. 22	-0. 35	0.06
青森県	-0. 83	-0. 26	0.85	-0.17	-0.14	0.05	0.09	-0. 24	-0.40	-0. 14
岩手県	-1. 08	-0. 75	0. 98	0.09	-0.10	0.02	-0.05	-0.34	-0. 03	-0. 20
宮城県	-0.86	-0. 21	0.11	0.16	-0.22	0.05	-0.43	-0.02	-0.08	-0.05
秋田県	-0.85	-0.96	0.68	0.13	0.11	-0.06	-0.36	-0.43	-0. 22	0.01
山形県	0. 53	-0. 59	1.07	-0.27	0.27	-0. 16	-0.05	0.18	-0.11	-0. 16
福島県	-0.01	-0.49	0.77	0.04	0. 29	-0.01	-0.22	-0.31	-0.41	0. 19
茨城県	-0. 28	-0. 26	0.16	-0.30	-0.12	-0. 10	-0. 59	-0.44	-0. 59	0.09
栃木県	-0.14	-0.86	-0. 29	0.01	0.72	-0.05	-0.42	0.08	-0.62	-0.02
群馬県	-0. 26	-0.85	-0.76	-0.14	-0.09	0.00	-0.51	-0.88	-0.54	-0.07
埼玉県	0. 29	0.64	-0.60	0.08	0.15	0.05	0.11	0.17	0.54	0.05
千葉県	0.17	0. 14	0.03	0.04	-0.43	0.06	-0.16	-0.09	0. 24	-0.02
東京都	0.96	2. 32	-0.46	0.12	-0.18	0.09	0.67	0.39	0.50	-0.04
神奈川県	0.77	1.64	-0. 20	0.08	0.09	-0.06	0.72	0. 54	0. 59	0. 14
新潟県	0.05	-0.64	-0. 15	-0.10	0.27	-0.03	-0.34	-0.11	-0.06	0.04
富山県	0.12	-0.88	0. 19	0.07	0.00	0.09	-0.40	-0.50	-0.34	0. 17
石川県	0.91	-0.94	0. 26	-0.02	0.34	0. 10	-0.20	0. 13	-0. 22	0.09
福井県	0.92	-0.98	-0. 59	0.35	-0.05	0. 12	-0.17	0.11	-0.58	0. 13
山梨県	-0.09	-0.40	-0.48	0.01	0.34	-0.14	-0.26	-0.49	-0. 20	0.00
長野県	-1. 79	-0.90	-0.03	-0.13	0.12	-0.09	-0.03	-0. 19	-0. 23	0. 17
岐阜県	-0.78	-1.09	-0.63	-0.24	0.09	-0.03	0.08	-0.30	-0.31	-0. 01
静岡県	-0.39	-0. 19	-0. 28	-0.08	-0.13	0.01	-0.09	-0.78	-0.01	-0.11
愛知県	-0.56	-0.31	-0.37	-0.12	-0.02	-0.01	-0.26	-0.14	0.09	-0.05
三重県	0.12	-0.30	-0.27	-0.06	-0.03	-0.05	-0.24	-0.04	-0.54	-0. 13
滋賀県	-0.15	-0.77	0.12	-0.10	0.21	0.03	0.11	0.32	-0.39	0.07
京都府	0.16	-0.52	0. 12	0.02	-0.06	-0.12	0.41	0.47	0. 23	0.09
大阪府	-0.19	-0.17	-0.11	0.00	-0.05	-0.02	0.15	0.37	0. 28	-0. 23
兵庫県	-0.04	0.00	-0.04	0.07	0.27	-0.08	0.13	0.09	0. 19	0. 23
奈良県	-1.78	-1. 15	0.15	-0.05	-0.35	-0.04	0.07	-0.18	-0.08	-0.04
和歌山県	0. 26	-0.07	0.17	0.00	-0.02	0.07	-0.19	0.19	-0.38	-0.02
鳥取県	0.71	-1.31	0.39	0.02	0.28	0.02	-0.38	-0.37	-0.63	-0.05
島根県	0.72	-1.25	0.88	-0.04	0.06	-0.04	-0.08	-0.08	-0.32	0.07
岡山県	-0.31	-1.03	0.53	0.01	0.31	0.06	-0.76	-0.46	-0.47	0.08
広島県	0. 59	-0.84	0.38	-0.12	-0.23	-0.01	-0.12	-0.08	-0.42	-0.04
山口県	0.40	-0.82	0.67	-0.02	0.30	0. 16	-0.47	-0.52	-0. 53	-0.03
徳島県	0.14	-0.77	0.38	0.07	0.39	-0. 10	-0.54	-0.08	-0.20	-0.02
香川県	-0.47	-0.94	0.46	0.01	-0.19	0.01	-0.01	-0.18	-0.44	0. 20
愛媛県	0.03	-1.00	0. 59	0.12	0.00	-0.01	-0.41	-0.36	-0. 19	-0. 16
高知県	0.76	-0.80	0. 22	-0.07	0.10	0.04	-0.47	-0. 23	-0.38	0.04
福岡県	-1.31	-1. 18	0.42	0.01	-0.15	0.00	-0.47	-0.16	-0.32	0.11
佐賀県	-0.92	-1.40	0.64	-0.17	0.18	-0.08	-0.31	-0.19	-0. 92	-0.08
長崎県	-0.08	-0. 53	0.85	0.04	0.58	0.01	0.07	-0.44	-0.43	0.12
熊本県	0. 57	-1.52	0.20	0.12	0.06	0.01	-0.13	-0. 23	-0.53	0.01
大分県	-0.32	-1. 28	0.35	-0.02	-0.22	-0.14	-0.53	0. 22	-0.84	-0. 15
宮崎県	-0.63	-1. 19	0.05	0.06	-0.12	-0.05	-0.39	-0.36	-1.03	-0. 19
鹿児島県	-0. 21	-1.45	0.05	-0.26	-0.50	0.02	-0.14	-0.32	-0. 90	-0. 21
沖縄県	1.06	-1.58	0.12	-0.02	0.02	0.04	-0.31	-0.24	-0.44	-0.35

(2) 平成27年結果との比較

◆ 「総合」を平成 27 年結果と比較すると、物価水準が全国平均(=100)以上 の都道府県の数は、11 都府県と横ばい

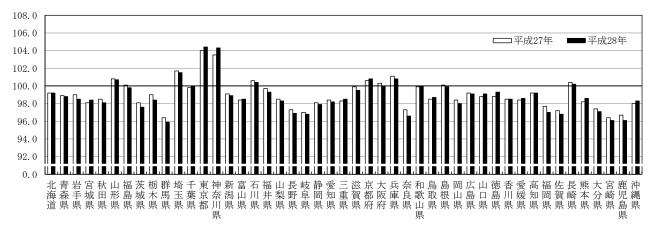
都道府県別に「総合」を平成27年結果と比較すると,物価水準が全国平均(=100) 以上となった都道府県の数は,11都府県と横ばいとなった。

平成 27 年結果において全国平均以上だった 11 都府県のうち,福島県(100.1 から 99.8)及び島根県(100.1 から 99.9)が全国平均未満となり、新たに千葉県(99.8 から 100.0)及び和歌山県(99.9 から 100.0)が全国平均以上となった $({}^{(\pm 1)}$ 。

(図 1 - 5, 表 1 - 3)

(注1)消費者物価地域差指数は、年次ごとに全国平均に対する当該地域の物価水準を相対的に表すものであるため、指数値の変動は、当該地域における物価水準の時系列変化を表しているわけではない。

図 1 - 5 消費者物価地域差指数 (総合) (47 都道府県) (平成 27 年, 28 年) (全国平均=100)



(参考:平成28年結果の総合の高い順)

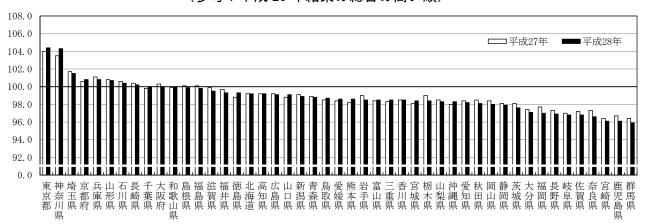


表 1-3 平成 27 年結果と 28 年結果の比較(総合)(全国平均=100)

都道府県 北海道 青森県 岩手県 宮城甲 山形県 山高島県 茨城県 栃木県	指数 99. 2 98. 8 98. 5 98. 4 98. 1 100. 7	順位 17 22 26 30 35	指数 99.2 98.9 99.0	順位 16 22
青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県	98. 8 98. 5 98. 4 98. 1	22 26 30	98. 9 99. 0	22
岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県	98. 5 98. 4 98. 1	26 30	99. 0	
宮城県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県	98. 4 98. 1	30		
宮城県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県	98. 1			20
秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県		35	98. 1	35
山形県 福島県 茨城県 栃木県	100.7		98. 5	25
福島県 茨城県 栃木県		6	100.8	5
茨城県 栃木県	99.8	13	100.1	10
栃木県	97. 6	38	98. 1	35
	98. 4	30	99. 0	20
群馬県	95. 9	47	96. 4	46
埼玉県	101.5	3	101.7	3
千葉県	100.0	9	99.8	14
東京都	104. 4	1	104.0	1
神奈川県	104. 3	2	103. 5	2
新潟県	98. 9	21	99. 1	19
富山県	98. 5	26	98. 4	29
石川県	100. 4	7	100.6	6
福井県	99. 3	15	99. 7	15
山梨県	98. 3	32	98. 5	25
長野県	96. 9	41	97. 3	41
岐阜県	96. 8	42	97. 0	44
静岡県	97. 9	37	98. 1	35
愛知県	98. 2	34	98. 4	29
三重県	98. 5	26	98. 3	33
滋賀県	99. 5	14	99. 9	12
京都府	100.8	4	100.6	6
大阪府	100.0	9	100. 3	9
兵庫県	100.8	4	101. 1	4
奈良県	96. 6	44	97. 3	41
和歌山県	100.0	9	99. 9	12
鳥取県	98. 7	23	98. 5	25
島根県	99. 9	12	100. 1	10
岡山県	98. 0	36	98. 4	29
広島県	99. 1	19	99. 2	16
山口県	99. 1	19	98.8	23
徳島県	99. 3	15	98.8	23
香川県	98. 5	26	98. 5	25
愛媛県	98. 6	24	98. 4	29
高知県	99. 2	17	99. 2	16
福岡県	97. 0	40	97. 7	39
佐賀県	96. 8	42	97. 2	43
長崎県	100. 2	8	100. 4	8
熊本県	98. 6	24	98. 2	34
大分県	97. 1	39	97. 4	40
宮崎県	96. 1	45	96. 4	46
声呵乐 鹿児島県	96. 1	45	96. 7	45
沖縄県	98. 3	32	98. 0	38

(3) 10 大費目別指数

- ◆ 「住居」は、東京都が鳥取県の 1.66 倍で、物価水準の差が最大
- ◆ 「保健医療」は、山口県が山形県の 1.06 倍で、物価水準の差が最小

10 大費目別に物価水準が最も高い都道府県と最も低い都道府県との比率 (注1) (以下「比率」という。) をみると、「住居」が最も高く、最も高い東京都 (133.2) は最も低い鳥取県 (80.2) の 1.66 倍となっている。このほか、「教育」 (1.41)、「光熱・水道」及び「被服及び履物」 (共に 1.28) などで比率が高くなっている。

一方, 比率が低いのは,「保健医療」の 1.06 倍で, 次いで「交通・通信」及び「諸 雑費」(共に 1.09) などとなっている。

比率を平成 27 年結果と比較すると、「総合」では 1.08 から 1.09 と 0.01 ポイント 拡大している。10 大費目別にみると、「住居」(0.11 ポイント)、「光熱・水道」(0.04 ポイント)、「被服及び履物」(0.02 ポイント)などで拡大している。一方、「家具・家事用品」(0.03 ポイント)、「教育」(0.02 ポイント)は縮小している。

(表 1-4, 表 1-5)

(注1) 比率= 最も高い都道府県の指数 最も低い都道府県の指数

表 1-4 10 大費目別指数(最も高い都道府県及び最も低い都道府県)(全国平均=100)

10 大費目	最も高い都道府	f県	最も低い都道府	比率	比率 (平成 27 年)	
総合	東京都	104.4	群馬県	95. 9	1.09	1. 08
食料	沖縄県	103.5	長野県	94. 1	1. 10	1. 10
住居	東京都	133. 2	鳥取県	80. 2	1.66	1. 55
光熱・水道	北海道	116.3	群馬県	91. 2	1. 28	1. 24
家具・家事用品	福井県	108.7	茨城県	93. 0	1. 17	1. 20
被服及び履物	栃木県	115. 7	鹿児島県	90. 1	1. 28	1. 26
保健医療	山口県	103. 1	山形県	97. 0	1.06	1. 06
交通・通信	東京都, 神奈川県	104.4	岡山県	95. 7	1.09	1.08
教育	神奈川県	112.6	群馬県	79. 9	1.41	1. 43
教養娯楽	神奈川県	104.8	宮崎県	91. 1	1. 15	1. 14
諸雑費	兵庫県	103.5	沖縄県	94. 8	1.09	1. 09
(参考) 家賃を除く総合	神奈川県	103. 4	群馬県,鹿児島県	96. 7	1. 07	1.05

次に、費目ごとに、都道府県別指数による日本地図の塗り分けを行い、視覚的に地域的な傾向を分析していく。

なお、日本地図の塗り分けを行う際の都道府県別指数のデータ区分は、費目間での 比較が可能となるように全費目で統一している。

「食料」の物価水準をみると、沖縄県(103.5)が最も高く、次いで東京都及び福井県(共に103.1)などとなっている。一方、最も低いのは長野県(94.1)で、次いで奈良県(94.3)、福岡県(95.7)などとなっており、物価水準による地域的な偏りはみられない。

$$(図1-6, 表1-5)$$

「住居」の物価水準をみると,東京都(133.2)が最も高く,次いで神奈川県(124.7), 埼玉県(109.3)などとなっている。一方,最も低いのは鳥取県(80.2)で,次いで 鹿児島県(80.5),熊本県(81.8)などとなっており,関東地方及び近畿地方の大都 市部が高く,近畿地方よりも西側の地方で低くなる傾向がみられる。

$$(図1-7, 表1-5)$$

「光熱・水道」の物価水準をみると、北海道(116.3)が最も高く、次いで山形県(111.6)、岩手県(111.0)などとなっている。一方、最も低いのは群馬県(91.2)で、次いで岐阜県(92.9)、埼玉県(93.0)などとなっており、関東地方及び中部地方が低く、それ以外の地域が高くなる傾向がみられる。

$$(図1-8, 表1-5)$$

「家具・家事用品」の物価水準をみると、福井県(108.7)が最も高く、次いで宮城県(104.0)、秋田県(103.1)などとなっている。一方、最も低いのは茨城県(93.0)で、次いで山形県(93.5)、岐阜県及び鹿児島県(共に94.1)などとなっており、物価水準による地域的な偏りはみられない。

$$(図1-9, 表1-5)$$

「被服及び履物」の物価水準をみると、栃木県(115.7)が最も高く、次いで長崎県(112.3)、徳島県(107.7)などとなっている。一方、最も低いのは鹿児島県(90.1)で、次いで千葉県(91.7)、奈良県(93.3)などとなっており、物価水準による地域的な偏りはみられない。

$$(図1-10, 表1-5)$$

「保健医療」の物価水準をみると,山口県(103.1)が最も高く,次いで福井県(102.4),石川県(101.9)などとなっている。一方,最も低いのは山形県(97.0)で,次いで大分県(97.2),山梨県(97.4)などとなっており,物価水準による地域的な偏りはみられない。

$$(図1-11, 表1-5)$$

「交通・通信」の物価水準をみると、東京都及び神奈川県(共に 104.4)が最も高く、次いで京都府(102.6)などとなっている。一方、最も低いのは岡山県(95.7)で、次いで茨城県(96.7)、徳島県(97.0)などとなっている。物価水準による地域的な偏りをみると、多くの都道府県は 95.0 から 100.0 の間に位置しており、全国平均よりも高い地域が関東地方及び近畿地方の大都市部に集中する傾向がみられる。

(図1-12, 表1-5)

「教育」の物価水準をみると、神奈川県(112.6)が最も高く、次いで京都府(112.3)、滋賀県(109.0)などとなっている。一方、最も低いのは群馬県(79.9)で、次いで静岡県(82.0)、富山県(85.7)などとなっており、関東地方及び近畿地方の大都市部が高いことは「住居」と共通であるが、それ以外の地域では、物価水準による地域的な偏りはみられない。

(図1-13, 表1-5)

「教養娯楽」の物価水準をみると、最も高いのは神奈川県(104.8)で、次いで埼玉県(104.5)、東京都(104.0)などとなっている。一方、最も低いのは宮崎県(91.1)で、次いで佐賀県(92.1)、鹿児島県(92.3)などとなっている。物価水準による地域的な偏りをみると、多くの都道府県は95.0から100.0の間に位置しており、全国平均よりも高い地域が関東地方及び近畿地方の大都市部に集中する傾向がみられる。

(図1-14, 表1-5)

「諸雑費」の物価水準をみると, 兵庫県 (103.5) が最も高く, 次いで香川県 (103.0), 福島県 (102.9) などとなっている。一方, 最も低いのは沖縄県 (94.8) で, 次いで大阪府 (96.6), 鹿児島県 (96.9) などとなっており, 物価水準による地域的な偏りはみられない。

(図1-15, 表1-5)

図1-6 消費者物価地域差指数(食料)(47都道府県)

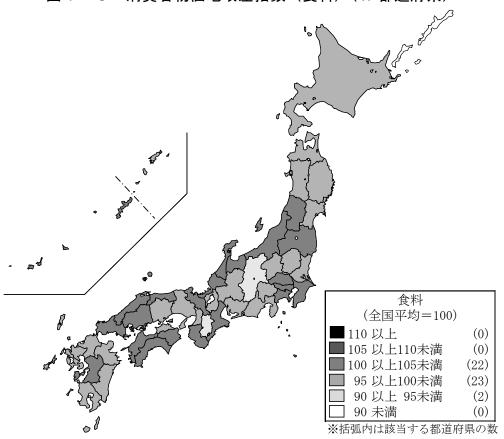


図1-7 消費者物価地域差指数(住居)(47都道府県)

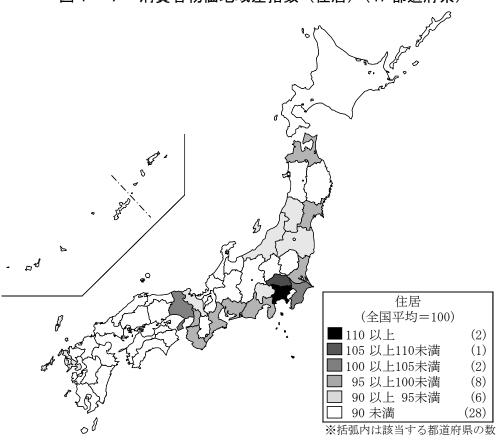


図1-8 消費者物価地域差指数(光熱・水道)(47 都道府県)

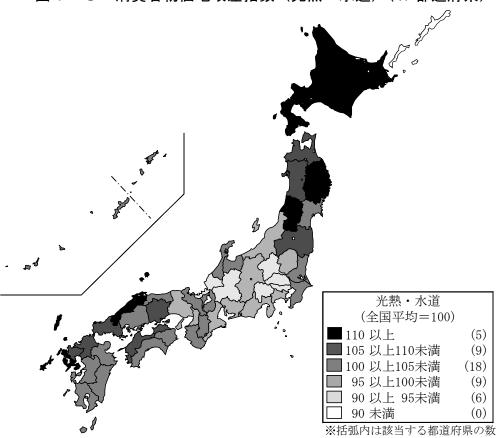


図1-9 消費者物価地域差指数 (家具・家事用品) (47 都道府県)

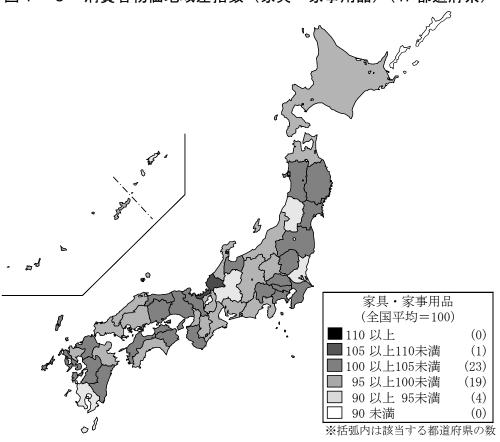


図 1-10 消費者物価地域差指数(被服及び履物)(47 都道府県)

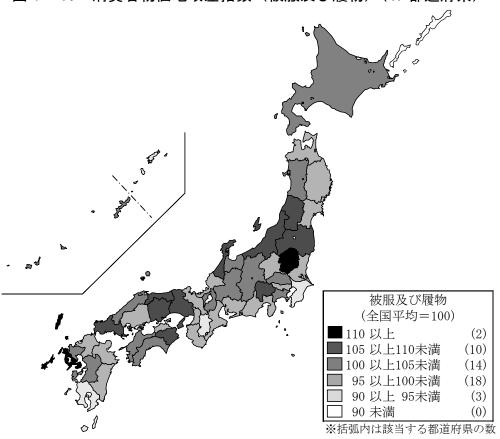


図 1 - 11 消費者物価地域差指数 (保健医療) (47 都道府県)

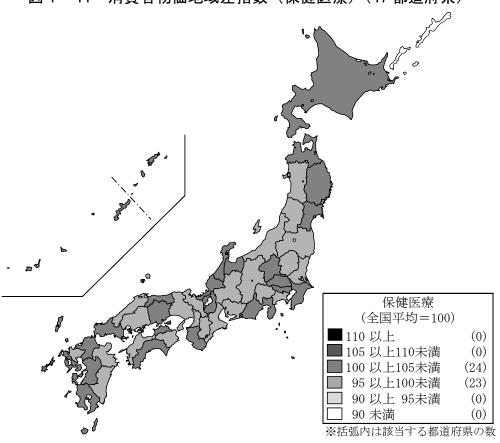


図 1-12 消費者物価地域差指数 (交通・通信) (47 都道府県)

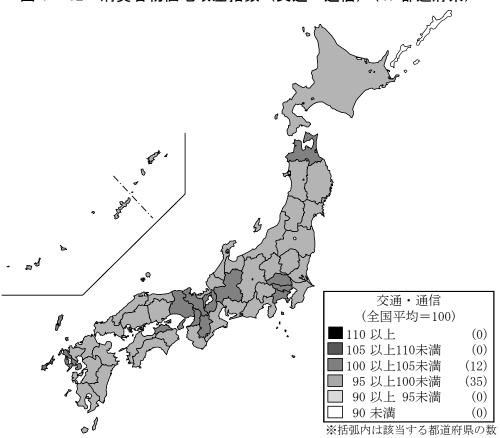


図 1-13 消費者物価地域差指数 (教育) (47 都道府県)

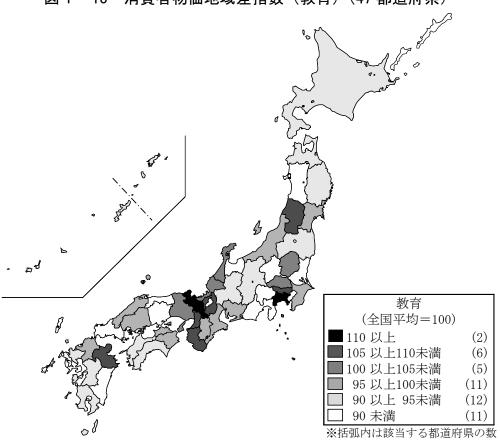


図 1-14 消費者物価地域差指数 (教養娯楽) (47 都道府県)

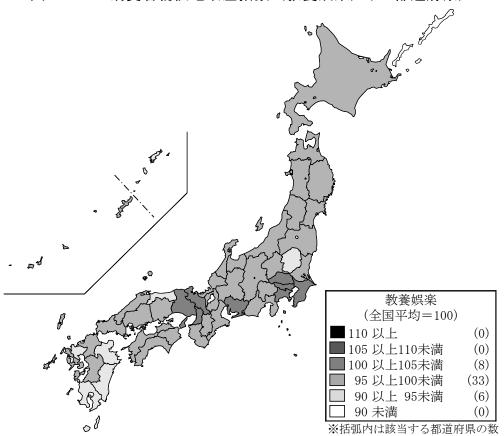


図 1-15 消費者物価地域差指数 (諸雑費) (47 都道府県)

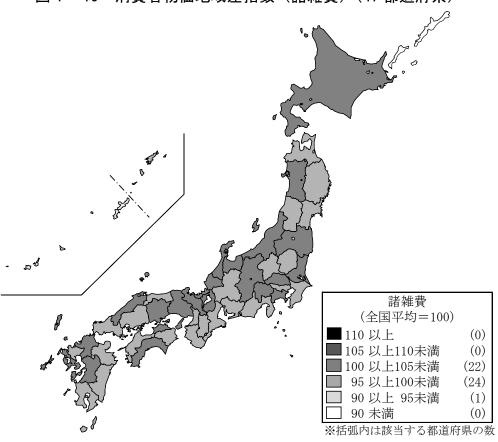


表 1-5 10 大費目別指数 (47 都道府県) (全国平均=100)

	表 1 一 5 10 大質目別指数(4/都追附県)(全国·					至国平均=100 <i>)</i>						
都道府県	総合	食料	住居	光熱• 水道	家具·家 事用品	被服及び履物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養娯楽	諸雑費	(参考) 家賃を 除く 総合
北海道	99. 2	98. 7	82.6	116.3	99. 3	103.8	100.2	99.5	93. 2	97. 1	100.9	100.3
青森県	98.8	97.4	95. 7	109.0	96. 2	97. 1	101.0	100.5	93. 2	96. 4	97.8	99.4
岩手県	98. 5	96.6	89. 4	111.0	102. 2	97.8	100.4	99. 7	90. 1	99.8	97. 0	99. 1
宮城県	98. 4	97. 2	97. 1	101.3	104.0	95. 6	100.9	97.5	99. 5	99. 3	99. 2	98. 7
秋田県	98. 1	97. 3	86. 1	107. 2	103. 1	102.4	98. 9	98.0	87. 1	98. 0	100.2	98. 5
山形県	100.7	101.7	91. 3	111.6	93. 5	105. 7	97.0	99. 7	105. 4	99. 1	97. 6	101.3
福島県	99.8	100.0	92. 5	108.6	100.9	106. 2	99. 9	98.8	90. 9	96. 6	102.9	100.4
茨城県	97. 6	99. 1	96.3	101.9	93.0	97. 5	98.0	96. 7	89. 5	95. 2	101.4	97.8
栃木県	98. 4	99. 5	87. 9	96. 7	100.3	115.7	99. 1	97. 7	101.9	94. 9	99.8	98. 9
群馬県	95. 9	99. 1	87.5	91.2	96. 9	98. 2	100.0	97. 1	79. 9	95. 5	98. 9	96. 7
埼玉県	101.5	100.9	109.3	93.0	101.8	103. 1	101.0	100.6	103.7	104.5	100.7	100.7
千葉県	100.0	100.6	102.0	100.4	101.0	91. 7	101.1	99. 1	97. 9	102.0	99. 6	100.0
東京都	104. 4	103.1	133. 2	94. 6	102.8	96. 5	101.7	104.4	108.3	104.0	99. 5	102.5
神奈川県	104.3	102.5	124.7	97.6	101.9	101.7	99.0	104.4	112.6	104.8	102.1	103.4
新潟県	98. 9	100.2	90.9	98. 5	97. 5	105.9	99.4	98. 1	97. 1	99. 5	100.6	99.3
富山県	98. 5	100.4	87.3	102.2	101.7	100.0	101.8	97. 7	85. 7	97. 2	102.6	99.0
石川県	100.4	103.0	86.0	103.0	99. 6	107.2	101.9	98.9	103.2	98. 2	101.3	100.9
福井県	99. 3	103.1	86. 2	93. 5	108.7	99. 1	102.4	99. 1	103.4	95. 2	101.9	99.8
山梨県	98. 3	99. 7	94. 3	94. 7	100.2	107. 2	97.4	98.4	87. 7	98. 3	100.0	98.8
長野県	96. 9	94. 1	87. 1	99. 7	97. 0	102.5	98. 3	99.8	94. 7	98. 1	102.6	97.6
岐阜県	96.8	97. 4	84. 1	92. 9	94. 1	101.9	99. 3	100.4	92. 5	97. 4	99.8	97. 5
静岡県	97. 9	98. 7	97. 2	96.8	98. 0	97. 4	100.2	99. 5	82.0	99. 9	98. 4	98. 3
愛知県	98. 2	98. 2	95. 3	95. 7	97. 2	99.6	99. 7	98. 5	96. 4	100.7	99. 2	98.6
三重県	98. 5	100.4	95. 6	96.8	98. 6	99. 4	99. 1	98.7	98. 9	95. 7	98. 1	99. 2
滋賀県	99. 5	99. 5	88. 3	101.4	97. 6	104. 3	100.6	100.6	109.0	96.8	101. 1	100.0
京都府	100.8	100.5	92. 3	101. 4	100. 4	98. 7	97.6	102.6	112.3	101.9	101. 4	101.1
大阪府	100.0	99. 4	97.6	98. 7	99. 9	99. 1	99.6	101.0	108.9	102.3	96.6	100.1
兵庫県	100. 8 96. 6	99. 9 94. 3	100. 0 84. 2	99. 5 101. 9	101. 7 98. 9	105. 4 93. 3	98. 4 99. 3	100.8	102. 2	101. 5 99. 3	103. 5 99. 3	100. 8 97. 0
奈良県 和歌山県	100.0	100. 9	99. 0	101. 9	100. 0	99. 5	101.3	98. 9	95. 2 105. 1	96.8	99. 3	100.8
鳥取県	98. 7	100. 9	80. 2	104. 4	100. 0	105. 9	101. 3	97. 9	88. 5	94. 6	99. 0	99. 3
島根県	99. 9	102. 3	84. 2	1104. 4	99. 2	103. 9	99. 2	99. 5	97. 9	97. 2	101. 0	100. 7
岡山県	98. 0	99. 0	86. 3	106.4	100. 2	106.6	101. 2	95. 7	87. 4	96. 0	101. 0	98. 6
広島県	99. 1	101. 9	89. 1	104.6	97. 2	95. 5	99. 9	99. 3	97.6	96. 4	99. 4	99. 7
山口県	99. 1	101.3	89. 1	108. 2	99. 6	106. 4	103. 1	97. 4	86. 0	95. 5	99. 5	99. 8
徳島県	99. 3	100.5	89. 2	104.6	101. 7	107. 7	98. 2	97. 0	97. 8	98. 3	99. 8	99. 9
香川県	98. 5	98. 4	85. 7	105.6	100.3	96. 4	100.3	100.0	95. 3	96. 4	103. 0	99. 1
愛媛県	98. 6	100.1	85. 7	107. 4	103.0	100. 1	99.8	97. 7	91. 2	98. 4	97. 7	99. 4
高知県	99. 2	102.6	88. 9	102.6	98. 2	102.0	100.8	97. 5	93. 6	96.8	100.5	100. 1
福岡県	97. 0	95. 7	85. 3	105.3	100. 2	97. 0	100.0	97. 2	95.8	97. 2	101.7	97.8
佐賀県	96.8	97. 0	82.6	107.6	96. 1	103.9	98.6	98. 2	94.8	92. 1	98.8	97. 7
長崎県	100. 2	99. 7	92.8	110.4	100.8	112.3	100.1	100.4	87. 1	96. 2	101.8	100. 4
熊本県	98. 6	101.9	81.8	102.3	102.9	101.3	100.1	99. 3	92. 9	95. 4	100.2	99. 7
大分県	97. 1	98. 9	83.8	104.3	99. 6	95. 6	97. 2	97. 1	106.5	92.9	97.8	98.3
宮崎県	96. 1	97. 9	85. 2	100.5	101.3	97. 5	98. 9	97.8	89.6	91. 1	97. 2	97. 3
鹿児島県	96. 1	99.3	80.5	100.6	94. 1	90. 1	100.4	99. 2	91. 3	92.3	96. 9	96. 7
沖縄県	98. 3	103.5	84.8	101.4	99. 4	100.2	100.8	98. 2	93.6	95.8	94.8	99.8

2 地方別の物価水準

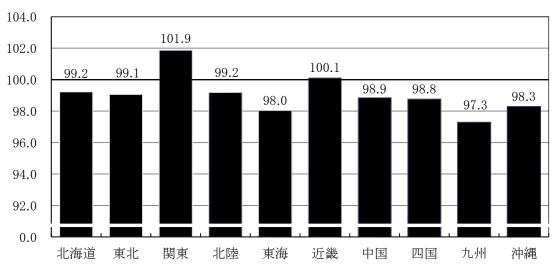
(1)総合指数

◆ 物価水準が全国平均 (=100) を超えているのは関東地方及び近畿地方の 2 地方

地方 (注1) 別に「総合」をみると、関東地方が 101.9 と最も高く、次いで近畿地方 (100.1) などとなっている。一方、最も低いのは九州地方 (97.3) で、次いで東海地方 (98.0) などとなっている。

物価水準が最も高い関東は、最も低い九州に比べて 4.7% (注2) 高くなっている。 (図 1-16)

図 1-16 消費者物価地域差指数 (総合) (地方 10 区分) (全国平均=100)



(注1) 地方10区分

北海道 … 北海道

東 北 … 青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県

山梨県,長野県

東海 … 岐阜県,静岡県,愛知県,三重県

近 畿 … 滋賀県,京都府,大阪府,兵庫県,奈良県,和歌山県

中 国 … 鳥取県, 島根県, 岡山県, 広島県, 山口県

四 国 … 徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県

九 州 … 福岡県, 佐賀県, 長崎県, 熊本県, 大分県, 宮崎県, 鹿児島県

沖 縄 … 沖縄県

(注2) <u>(高い指数-低い指数)</u> 低い指数

(2) 10 大費目別指数

- ◆ 「住居」は、関東が北海道の 1.39 倍で、物価水準の差が最大
- ◆ 「保健医療」は、北陸及び中国が近畿の 1.02 倍で、物価水準の差が最小

10 大費目別に物価水準が最も高い地方と最も低い地方との比率 (注1) をみると,「住居」が最も高く,最も高い関東(115.2)は最も低い北海道 (82.6) の 1.39 倍となっている。このほか,「光熱・水道」(1.22),「教育」(1.18) などで比率が高くなっている。

一方, 比率が低いのは, 「保健医療」の 1.02 倍で, 次いで「家具·家事用品」及び「交通・通信」(1.04) などとなっている。

比率を平成 27 年結果と比較すると,「総合」では 0.01 ポイント拡大している。10 大費目別にみると,「光熱・水道」(0.06 ポイント),「食料」及び「住居」(0.02 ポイント) などで拡大している。一方,「被服及び履物」(0.06 ポイント),「教育」(0.02 ポイント) などは縮小している。

(図1-17, 図1-18, 表1-6)

(注1) 比率= 最も高い地方の指数 最も低い地方の指数

表 1 - 6 10 大費目別指数 (地方 10 区分) (全国平均=100)

地方	総合	食料	住居	光熱 • 水道	家具·家 事用品	被服及 び履物	保健 医療	交通・ 通信	教育	教養娯楽	諸雑費	(参考) 家賃を 除く 総合
北海道	99.2	98. 7	82. 6	116.3	99.3	103.8	100. 2	99. 5	93. 2	97. 1	100.9	100. 3
東北	99. 1	98. 3	94. 0	107. 1	100.5	100.6	99. 9	98.8	93. 5	98. 1	99. 4	99. 5
関東	101. 9	101. 3	115. 2	96. 3	100.8	99. 2	100. 3	101. 5	103.8	102. 4	100.5	101. 1
北陸	99. 2	101. 3	88. 1	99. 3	100.4	103.9	100.9	98.3	96. 7	97. 9	101. 3	99.6
東海	98. 0	98. 5	94. 9	95. 7	97. 1	99. 3	99. 7	99. 0	92. 1	99. 5	98. 9	98. 5
近畿	100.1	99. 4	96. 3	99.8	100. 2	100.6	99. 1	100.9	108. 2	101. 2	99.6	100. 3
中国	98.9	101. 1	87. 7	106. 2	98.9	101. 6	100. 9	97. 9	91.8	95.8	100.0	99. 5
四国	98.8	100. 2	86. 9	105. 6	101. 2	100. 5	99.8	98. 1	93. 2	97. 6	99. 9	99. 5
九州	97. 3	97. 9	84. 6	104. 5	99.6	98. 1	99. 7	98. 2	94. 3	95. 0	99. 9	98. 1
沖縄	98.3	103. 5	84. 8	101. 4	99. 4	100. 2	100.8	98. 2	93. 6	95.8	94. 8	99.8
比率	1.05	1.06	1. 39	1. 22	1. 04	1. 06	1. 02	1. 04	1. 18	1. 08	1. 07	1.03
比率 (平成 27 年)	1. 04	1.04	1. 37	1. 16	1. 04	1. 12	1.03	1. 03	1. 20	1. 07	1. 08	1.02

^{(※) 10} 大費目別に最大値及び最小値の地方に網掛けをしている。濃い網掛け(■) は最大値, 薄い網掛け(■) は最小値を示す。

図 1-17 消費者物価地域差指数(比率上位 3 費目) (地方 10 区分)(全国平均=100)

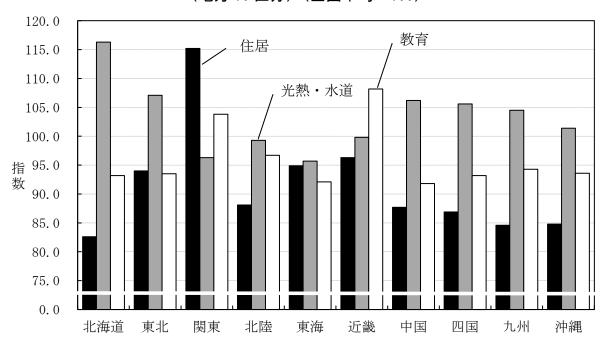
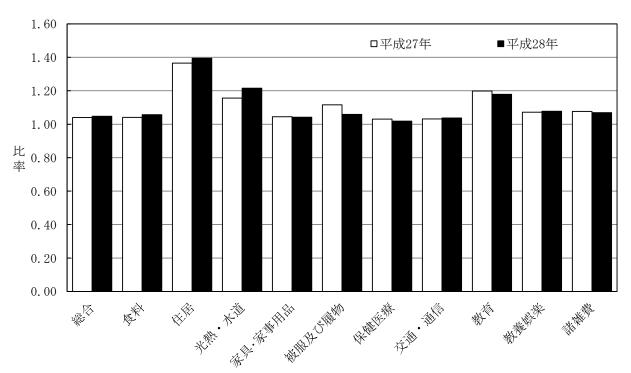


図 1-18 「総合」及び 10 大費目別指数の比率が最も高い地方と最も低い地方 (平成 27 年, 28 年)



地方別にみると、北海道では、「住居」が 10 地方の中で最も低く、「光熱・水道」 が 10 地方の中で最も高い。

東北では、「光熱・水道」、「家具・家事用品」及び「被服及び履物」が全国平均より高い。

関東では、「光熱・水道」及び「被服及び履物」以外の全ての費目が全国平均より高く、特に「住居」、「交通・通信」及び「教養娯楽」が 10 地方の中で最も高くなっている。

北陸では、「食料」、「家具・家事用品」、「被服及び履物」、「保健医療」及び「諸雑費」が全国平均より高く、特に「被服及び履物」、「保健医療」及び「諸雑費」が 10 地方の中で最も高くなっている。

東海では、全ての費目が全国平均より低く、特に「光熱・水道」及び「家具・家事 用品」が 10 地方の中で最も低くなっている。

近畿では、「保健医療」が10地方の中で最も低く、「教育」が10地方の中で最も高い。

中国では、「交通・通信」及び「教育」が 10 地方の中で最も低く、「保健医療」が 北陸と同指数で 10 地方の中で最も高い。

四国では、「食料」、「光熱・水道」、「家具・家事用品」及び「被服及び履物」が全国平均よりも高く、特に「家具・家事用品」は10地方の中で最も高くなっている。

九州では、「光熱・水道」以外の全ての費目が全国平均より低く、特に「食料」、「被服及び履物」及び「教養娯楽」が10地方の中で最も低くなっている。

沖縄では、「諸雑費」が 10 地方の中で最も低く、「食料」が 10 地方の中で最も高い。 (図 1-19、表 1-6)

図 1-19 10 大費目別指数 (地方 10 区分) (全国平均=100)

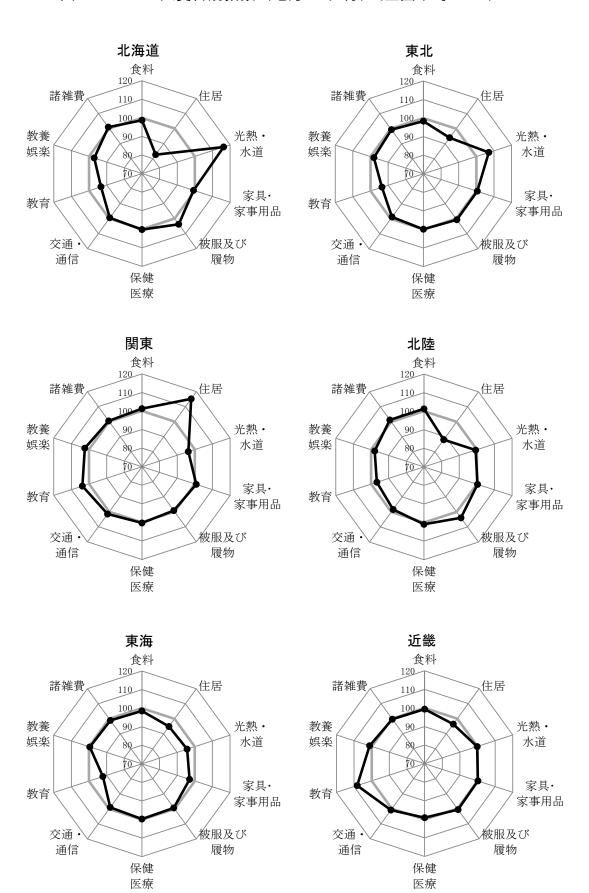
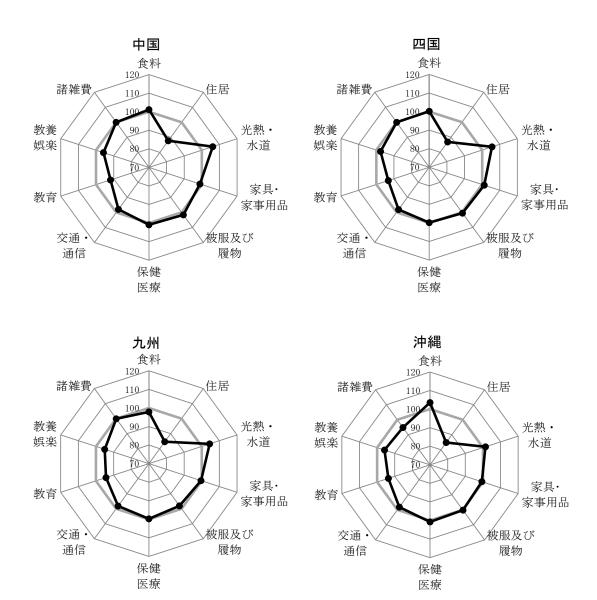


図 1-19 10 大費目別指数 (地方 10 区分) (全国平均=100)



3 都市別の物価水準

◆ 物価水準が最も高いのは川崎市、最も低いのは前橋市

都市 (注1) 別に「総合」をみると、川崎市が 105.4 と最も高く、次いで東京都区部 (105.2)、横浜市 (104.9)、相模原市 (104.0) などとなっている。

一方,最も低いのは前橋市 (95.9) で,次いで奈良市 (96.0),佐賀市 (96.5),鹿 児島市 (96.6) などとなっている。

物価水準が最も高い川崎市は、最も低い前橋市に比べて 9.9% ($^{(\pm 2)}$) 高くなっている。 (図 1-20,表 1-7)

(注1)都市とは都道府県庁所在市(東京都については東京都区部)及び政令指定都市(川崎市,相模原市, 浜松市,堺市及び北九州市)のことである。市の区域は,平成26年6月11日現在の区域による。

図 1-20 消費者物価地域差指数 (総合) (都市) (全国平均=100)

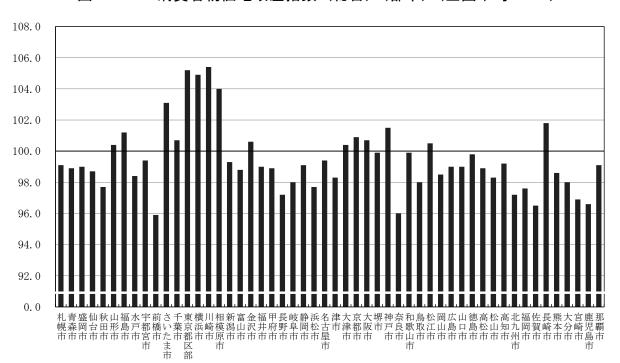


表 1 - 7 消費者物価地域差指数 (「総合」,「食料」及び「家賃を除く総合」)(都市) (全国平均=100)

				(to 10)					(() ()
都市		総合	食料	(参考) 家賃を除 く総合		都市	総合	食料	(参考) 家賃を除 く総合
	札幌市	99. 1	99. 7	100. 1		神戸市	101.5	100.4	101.3
	青森市	98. 9	97. 9	99. 5		奈良市	96.0	92.6	96. 4
	盛岡市	99. 0	98. 5	99. 4		和歌山市	99. 9	100.0	100.6
	仙台市	98. 7	97. 4	98. 9		鳥取市	98.0	100.9	98.8
	秋田市	97. 7	97. 5	98. 1		松江市	100. 5	103. 1	101.0
	山形市	100.4	101. 2	101. 1		岡山市	98. 5	100.4	99. 1
	福島市	101. 2	103. 5	101.8	-1	広島市	99. 0	101.7	99.6
	水戸市	98.4	99. 1	98. 9	都道	山口市	99. 0	101.3	100.1
	宇都宮市	99. 4	101. 3	99. 9	· 坦 府	徳島市	99.8	102.7	100.8
	前橋市	95. 9	98. 2	96. 5	県	高松市	98. 9	99.0	99. 5
都	さいたま市	103. 1	102.0	102. 2	庁	松山市	98. 3	99. 7	99. 4
道	千葉市	100.7	101.6	100. 7	所	高知市	99. 2	103.0	100.1
府	東京都区部	105. 2	103. 4	102. 9	在市	福岡市	97. 6	96. 2	98.5
県庁	横浜市	104. 9	102. 9	103. 9	111	佐賀市	96. 5	96.3	97.5
所	新潟市	99. 3	101. 0	99. 5		長崎市	101.8	101.4	101.7
在	富山市	98.8	101. 7	99. 4		熊本市	98. 6	102.2	99.8
市	金沢市	100.6	103. 3	101. 2		大分市	98. 0	100.6	99. 2
	福井市	99. 0	102.6	99. 7		宮崎市	96. 9	100.0	97.7
	甲府市	98. 9	99. 9	99. 5		鹿児島市	96. 6	100.2	97.0
	長野市	97. 2	94. 1	97. 9		那覇市	99. 1	105. 1	100.3
	岐阜市	98.0	98. 5	98.8					
	静岡市	99. 1	99. 2	99. 0					
	名古屋市	99. 4	98. 9	99. 5	政	川崎市	105. 4	102.5	103.7
	津市	98. 3	99. 6	98. 9	令	相模原市	104. 0	104.6	103.4
	大津市	100. 4	101.0	100. 9	指 定	浜松市	97. 7	98. 4	98. 2
	京都市	100.9	100.6	101. 2	都	堺市	99. 9	99.8	100.1
	大阪市	100.7	99. 7	100. 4	市	北九州市	97. 2	97.8	98.0